

令和5年4月

魚津市定例記者会見



日時:令和5年4月3日(月) 午後1時30分～午後1時50分

場所:市役所 第一委員会室

報道出席者:北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、
NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者:市長、情報広報課長

1. 市長からの発表事項

(1) 書かない窓口サービスのPRマンガを作成しました！

(担当:情報広報課)

- ・住民DXの取り組みの一環として、令和5年1月から書かない窓口システムを導入。システムの仕組みや事前申請のメリットについて、市民の方に知ってもらい、サービスを利用してもらえるようPRマンガを作成(3種類あり)し、市ホームページや広報うおづ、パンフレット等で活用する予定。市民の皆様にも慣れていただきたい。

(2) 「うおづ健康情報 Navi！」を開設しました

(担当:健康センター)

- ・従来から市民の健康づくりや医療体制の啓発を目的として、富山労災病院、魚津市医師会、魚津市の3者が協力し、「市民公開講座」を実施してきたが、近年はコロナの影響で実施できていない。そこで3者が市民向けに行っている情報発信を集約した「うおづ健康情報 Navi！」をホームページ内に開設することとした。
- ・平成30年度からやっている「健康うおづプラス1(ワン)」の内容を改定。
- ・健康センター、富山労災病院、魚津市医師会がYoutubeなどで発信している情報を一元化。健康奉行など再生回数が多いものもあり是非ご覧いただきたい。

(3) 電子地域通貨 MiraPay(ミラペイ)

令和5年度 ポイント還元キャンペーンの実施について

(担当:商工観光課)

- ・指定日における MiraPay コインでの支払いに対し、上限10%のポイントを付与するキャンペーンを開始。

- ・期間中の第2、第4土曜日・日曜日に MiraPay コインでお支払いをした場合、最大10%のポイント(利用期限あり)を付与する。
- ・ポイント付与率は、ミラペイアプリ利用者は10%付与(上限2,000 ポイント)でミラペイカード利用者は5%付与(上限1,000 ポイント)。同じ2万円でも付与されるポイントが2,000 か 1,000 かといった違いがある。

2. 質疑応答の内容

「書かない窓口」について

《記者からの質問》

マイナンバーカードや免許証があればだれでも、書かない窓口は利用できるか。1月から運用を開始して、今回、PRマンガを作成したのは、あまり浸透していないからなのか。マンガを作ったのは、市の職員なのか。

《回答》(市長)

すべての窓口で実施しておらず、どんなものかわからないといった方もいるので、広く知っていただくために作成した。理解を高めていくことが重要。

また、マンガ作成は、元市職員で現在イラストレーターの方に依頼した。

「電子地域通貨 MiraPay (ミラペイ)」について

《記者からの質問》

予算額に達し次第ということだが、予算額は決まっているのか。

《回答》(市長)

予算上限額は決まっており、約250万円となっている。